

1996年3月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、ブロッキング高気圧が現れたアラスカ付近とグリーンランドからロシア北部にかけて正偏差域に覆われた。大西洋東部からヨーロッパ東部にかけては負偏差域となり、太平洋の中緯度や北米大陸東部も負偏差域が広がった。帯状平均した亜熱帯ジェットは、平年よりやや南に位置した。

世界の異常天候

① 東アジアから南アジア東部の多雨

中国では一部を除いて多雨傾向となった。また、インド北部からインドシナ半島にかけては高温となった。南アジア東部では多雨となり、マレーシアのクアラルンプールでは月降水量 450 mm (205%) であった。

③ ヨーロッパ北部からシベリア西部の少雨

西シベリアでは少雨(雪)であった。ヨーロッパも、

北部から中部にかけて降水量が平年より少なく、ドイツやオランダでは月降水量が 20 mm 未満の所が多かった。

④ アフリカ北部から中東の多雨

中東からアフリカ北部にかけては多雨で、トルコでは月降水量が 100 mm を超える所があった。

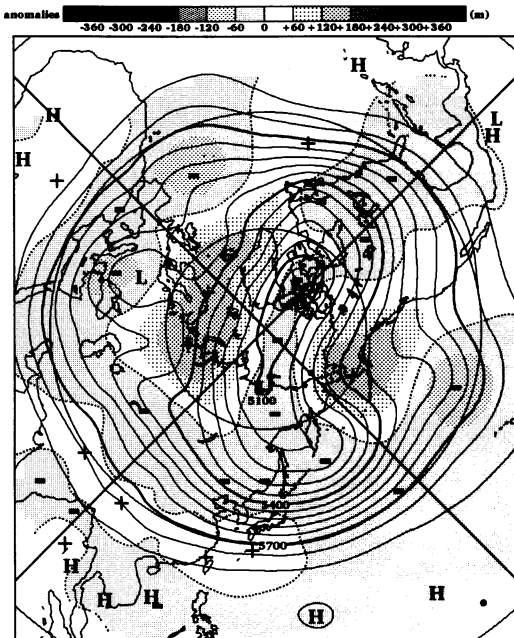
⑤ シベリア東部からアラスカの高温

シベリア東部では高温となり、カメンスコエで月平均気温 -10.4°C ($+9.6^{\circ}\text{C}$)。アラスカも高温傾向となった。

⑥ アメリカ合衆国東部の低温

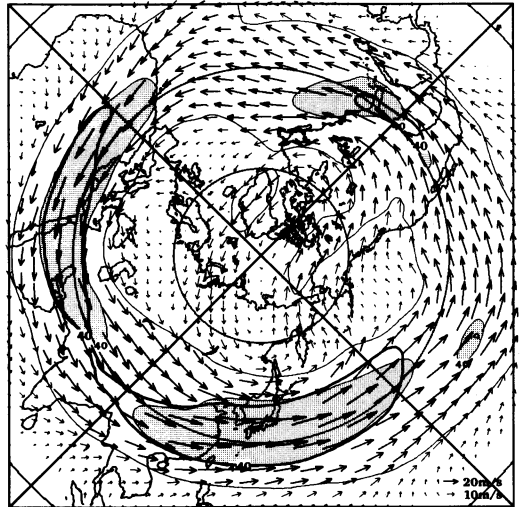
合衆国中部から東部にかけては引き続き低温傾向で、月平均気温が 4°C 以上も低い所があった。また、南部を中心に少雨傾向が続き、テキサス州ガルベソンでは月降水量 18 mm (34%) であった。

(気象庁予報部長期予報課 小林ちあき)



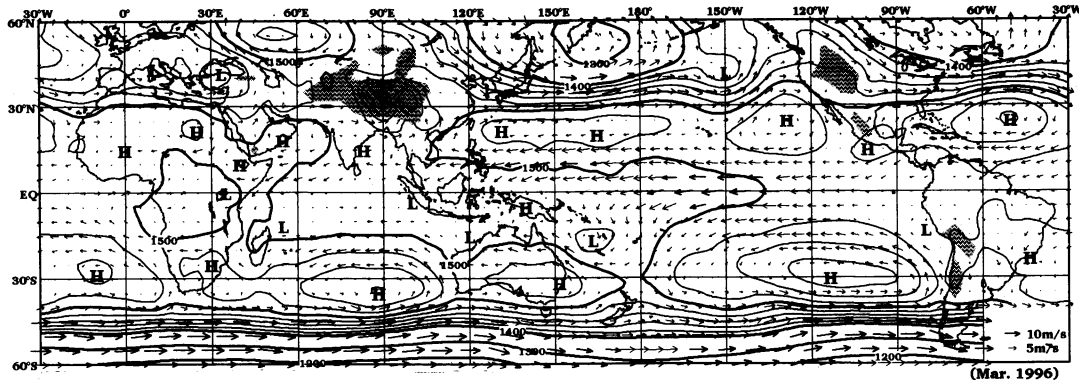
1996年3月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔, 偏差パターン間隔は 60 m.
平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。

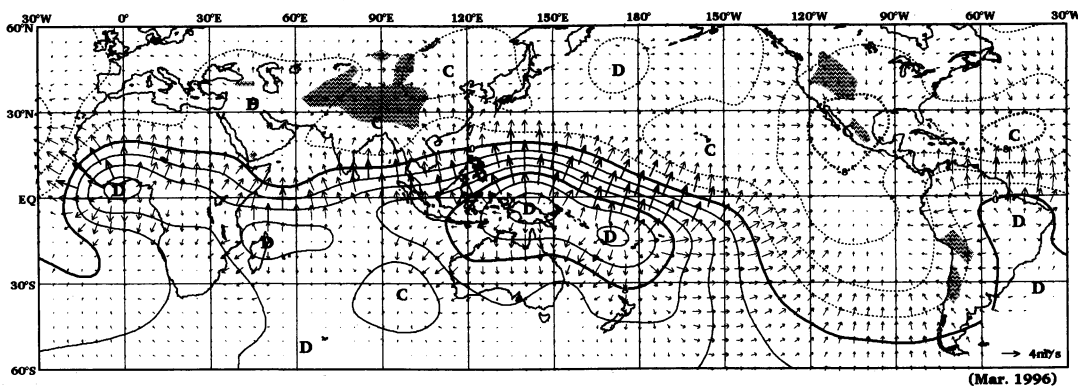


1996年3月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル

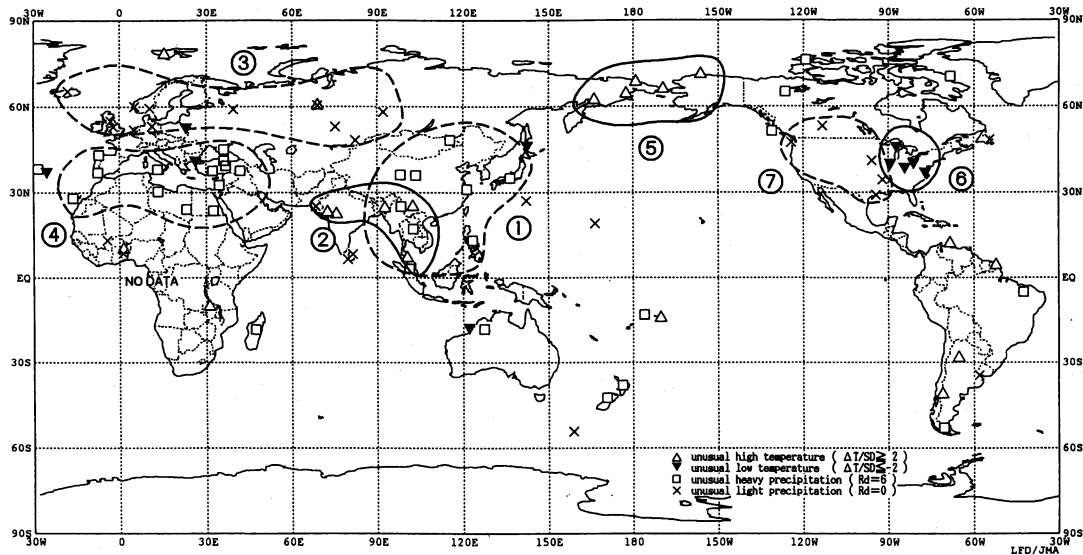
等値線間隔は 20 m/s. 陰影部は平年で 40 m/s 以上.
平均値は1979~1990年のデータに基づくもの。



1996年3月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m) (Mar. 1996)



1996年3月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$ (Mar. 1996)



1996年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6または0
 図中の番号は本文中の番号と対応している。